

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	就学支援委員会拡充整備事業	所管	教育委員会学校教育部 学校教育課
			Tel 2998-9238

事業の目的 (何の為に 行うか)	就学相談を必要とする児童・生徒及び保護者に対して、適切な就学先を選択するため情報提供等の支援を行うための相談組織
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	相談にあたる支援員の人数	対象とした数	40	人
		実際に 利用した数	151	人

活動の内容	(何を したか)	障害のある児童生徒の就学すべき学校を保護者ととともに模索する。 保護者に養護学校や特別支援学級の情報提供をしつつ、子どもとの面談や施設見学を勧め支援する。 その支援にあたる相談員40人の組織が就学支援委員会であり、相談の結果を最終的に判断し、教育長に答申する。								
活動実績	項目名	児童生徒の観察回数、保護者との面談回数	227	項目名	単位	回	項目名	単位	項目名	単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	1,032	948	19,736	58.2

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	就学先と判断の一致	就学先/就学先校種ごとの判断×100	100	70.9	70.9
			単位 %	単位 %	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了	⇒	事業完了	終了	休止
	予算	* 現状どおり		増額	減額	終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他〔 〕	終了
	予算	現状どおり		増額	減額	終了		

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	130100	TEL	2998-9238
事業コード	就学支援委員会拡充整備事業					
130118	教育委員会学校教育部 学校教育課					
開始年度		平成 2 年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令				
	分野別計画・指針								
	関連・類似事業	障害児就学相談事業							
	総計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち	施策	2節 学校教育	中柱	3 相談活動の充実	小柱	(4) 就学支援体制の充実
行政改革大綱における行動計画への位置づけ		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 6 位				・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○			
事業開始の背景		障害のある児童生徒の学校・学級を、措置として養護学校や特殊学級に振り分けた。選択の余地無く、強制力を持っていた。							

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)		就学相談を必要とする児童・生徒及び保護者に対して、適切な就学先を選択するため情報提供等の支援を行うための相談組織						
	対象(誰を、何を対象としているのか)		利用数の考え方						
	相談にあたる支援員の人数		相談票を提出した児童・生徒の人数						
	対象数	単位	平成 18 年度	38	人	利用数	単位	平成 18 年度	166
		平成 19 年度	40	人			平成 19 年度	151	人
事業の具体的な内容及び実施方法		障害のある児童生徒の就学すべき学校を保護者とともに模索する。保護者に養護学校や特別支援学級の情報提供をしつつ、子どもとの面談や施設見学を勧め支援する。その支援にあたる相談員40人の組織が就学支援委員会であり、相談の結果を最終的に判断し、教育長に答申する。							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		◀ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ▶	
	総合評価	<input type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
平成19年度中に改善した点				
・充実した相談とするため支援員を増員した。 ・教員の支援員が本務に影響が少ないように、夏休みに相談業務ができるよう工夫した。				

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		1,032	1,032	1,032
	決算 (見込み含む)		864	948	
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 2.00 人 ) ( 38.00 人 ) ( 2.00 人 ) ( 人 )			
	正規職員人件費	2.00 人	18,400	2.00 人	18,788
	公債費				
	事業費合計		19,264	19,736	
	財源内訳	一般財源	19,264	19,736	1,032
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)	57.0	58.2		
	利用数一単位あたり(単位:円)	116,048.2	130,702.0		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	児童生徒の観察回数、保護者との面談回数	相談件数 × 1.5	回	249	227	225
	成果分析	就学先と判断の一致	就学先 / 就学先校種ごとの判断 × 100	%	100	100	100
				%	64.5	70.9	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 所沢市障害児就学支援委員会	
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	明らかとなった課題	支援委員が本務である学校の授業等が終了した後、保護者と面談や観察を行うため、支援委員一人あたりの負担が過重である。			
今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)			
平成20年度における目標設定	幼児を対象とした相談で、面談や観察が2人の相談員に偏り過重な負担にならないようにする。	幼児を対象とした相談を3人以上の人数で対応する。	平成20年7月		
平成21年度における事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )				
総合評価	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由	就学支援委員は、本務以外での活動のため、授業の空き時間や放課後または夜間にかけて活動せざるを得ない。保護者の要望を聞き取り、児童生徒の将来のためにも重要な相談であるため、拡充すべきである。				
評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	学校教育課長 内野 正行		

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	
優先度評価	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	評価理由	<input type="checkbox"/> A: 優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B: 重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C: 現状での実施は見送るべきと評価する事務事業				
	評価日					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎個別計画			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
主要課題				
施策の方向				